

## 第 1 学期終業式挨拶

おはようございます。

いつも思うことですが、みんなが大きな声で歌っている校歌を聞くと、清々しい気持ち、嬉しい気持ちになります。ありがとう。

第1学期の始業式で何を話したのか覚えていますか？「自分から〇〇する学校」をつくらうというお話をしたかと思います。

「自分から挨拶をする学校をつくらう」「自分からアイデアを出す学校をつくらう」「自分からルールやマナーを守る学校をつくらう」という3つのお話をしましたが、1学期を振り返って、自分や友達はできていたでしょうか？2学期の活動も目標をもって取り組んでほしいと思います。

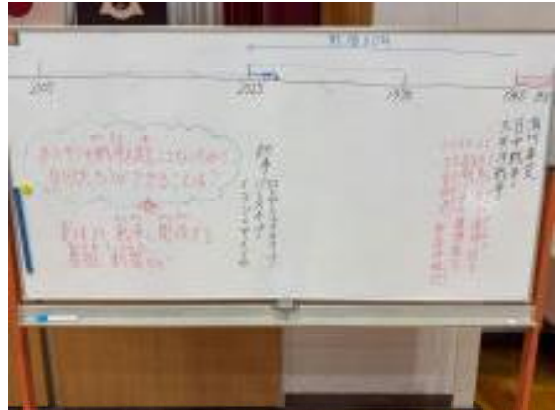
校長先生から、夏休みの宿題というか、夏休みに考えてほしいことを言います。現在は2025年です。今から80年前、日本は戦争をしていました。1931年から1945年まで、満州事変、日中戦争、太平洋戦争と15年間も戦争をしていました。

1945年8月6日には広島に原子爆弾投下。8月9日には長崎に原子爆弾投下。8月15日には玉音放送(天皇がするラジオ放送)で日本が無条件降伏したことを国民に伝えました。それから80年日本は戦争をしていませんが、世界では、ロシアとウクライナが戦争をしていたり、パレスチナで紛争があったり、イランにアメリカが爆弾を落としたりして、戦争で関係のない子どもたちがたくさん亡くなっています。日本も80年以上前は同じように罪のない子どもたちが空襲などでたくさん亡くなりました。

これからみなさんが生きていく未来で、争いや戦争が起こらないようにするために、夏休みに自分(たち)ができることを考えてほしいです。この夏休みは戦後80年という節目の年で、たくさんの戦争に関わるテレビ番組や新聞で報道されると思います。

また、ヒントになるようなお話をします。広島平和記念公園に「原爆の子の像」がありますが、実はこの像は子どもたちが建てたものです。2歳で被爆した佐々木禎子さんは幸いけがもなく、元気で活発な少女に成長しました。ところが、小学校6年生の時に、突然、血液のがんである白血病と診断され、中学生の時に短い生涯を終えました。禎子さんは「鶴を千羽折ると病気が治る」と信じて、薬の包み紙や包装紙などで、1000羽以上の鶴を折り続けました。禎子さんの死を悲しんだ同級生たちは、「原爆で亡くなったすべての子どもたちのために慰霊碑をつくらう」と全国へ呼びかけ、募金活動を行い、像を完成させました。昨年度もみなさんが折った折り鶴を「原爆の子の像」に修学旅行で捧げました。

2学期の始業式の時に、みなさんが夏休みに考えたことを発表してもらおうと思っています。よろしくお願いします。



▲佐々木禎子さんが実際に折った折り鶴

▲原爆の子の像

◀葛城市では8月9日(土)の14:00～「戦争体験を聞く会」が開催されます。戦争体験者が少なくなっている現在、貴重な機会ですので、お時間がありましたら、ご参加ください。